

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公表番号】特表2006-514066(P2006-514066A)

【公表日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-017

【出願番号】特願2004-566575(P2004-566575)

【国際特許分類】

**C 0 7 D 231/56 (2006.01)**

**C 0 7 D 295/14 (2006.01)**

**C 0 7 D 277/62 (2006.01)**

**C 0 7 D 277/82 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/495 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/496 (2006.01)**

**A 6 1 P 3/10 (2006.01)**

**A 6 1 P 17/02 (2006.01)**

**A 6 1 P 19/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 21/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 9/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 9/06 (2006.01)**

**A 6 1 P 9/10 (2006.01)**

**A 6 1 P 9/04 (2006.01)**

【F I】

C 0 7 D 231/56 Z

C 0 7 D 295/14 C S P A

C 0 7 D 277/62

C 0 7 D 277/82

A 6 1 K 31/495

A 6 1 K 31/496

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 19/00

A 6 1 P 21/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/06

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/04

A 6 1 P 9/10 1 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月20日(2006.10.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

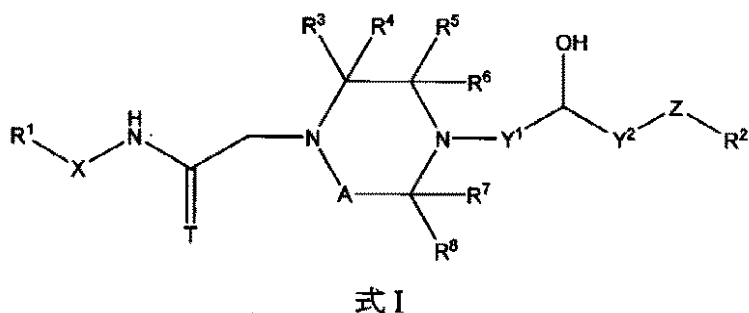
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式：

## 【化 1】



[ 式中、

$R^1$  および  $R^2$  は独立して、場合により置換されたアルキル、場合により置換されたアルケニル、場合により置換されたアルキニル、場合により置換されたシクロアルキル、場合により置換されたアリール、または場合により置換されたヘテロアリールであり；

A は  $-(CR^9R^{10})_m-$  であって、m は 1 または 2 であり；

$R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$ 、 $R^9$  および  $R^{10}$  は独立して、水素、場合により置換された低級アルキル、または  $-C(O)R$  であって、ここで、R は、 $-OR^{11}$  または  $-NR^{11}R^{12}$  であり、 $R^{11}$  および  $R^{12}$  は水素または場合により置換された低級アルキルであるか；

$R^3$  と  $R^4$ 、 $R^5$  と  $R^6$ 、 $R^7$  と  $R^8$ 、 $R^9$  と  $R^{10}$  は、それらが結合している炭素と一緒に becoming カルボニルであるか；あるいは、

$R^3$  と  $R^7$ 、 $R^3$  と  $R^9$ 、 $R^3$  と  $R^{11}$ 、または  $R^5$  と  $R^7$  は一緒になって架橋基  $-(CR^{13}R^{14})_n-$  を形成し、ここで、n は 1、2 または 3 であり、そして  $R^{13}$  および  $R^{14}$  は独立して、水素または場合により置換された低級アルキルであり；

但し、

カルボニル基の最大数は 1 であり；

$-C(O)NR^{11}R^{12}$  基の最大数は 1 であり；そして、

架橋基の最大数は 1 であって；

T は、酸素または硫黄であり；

X は、共有結合または  $-(CR^{15}R^{16})_p-$  であって、ここで、 $R^{15}$  および  $R^{16}$  は水素、場合により置換された低級アルキルまたは  $-C(O)OR^{17}$  であり、p は 1、2 または 3 であり、そして  $R^{17}$  は水素、場合により置換された低級アルキルまたは場合により置換されたフェニルであり；

$Y^1$  および  $Y^2$  は独立して  $-(CR^{18}R^{19})_q-$  であって、ここで、q は 1、2 または 3 であり、そして  $R^{18}$  および  $R^{19}$  は独立して、水素、ヒドロキシまたは場合により置換された低級アルキルであり；

但し、

q が 1 である場合には、 $R^{18}$  および  $R^{19}$  はヒドロキシではなく；

Z は、共有結合、 $-C(O)NR^{20}-$  または  $-NR^{20}C(O)-$  であって、ここで、 $R^{20}$  は水素または場合により置換された低級アルキルであるか；あるいは、

$Y^2$  および Z は一緒になって共有結合であり；

但し、

$R^1$  および  $R^2$  が場合により置換されたフェニルであって、そして X が共有結合である場合には、Z は共有結合ではない]

で示される化合物。

## 【請求項 2】

$R^1$  は場合により置換されたアリールであり、そして  $R^2$  は場合により置換されたアリールまたは場合により置換されたシクロアルキルである、請求項 1 記載の化合物。

## 【請求項 3】

Xは共有結合であり、そしてTは酸素である、請求項2記載の化合物。

【請求項4】

$Y^1$  および  $Y^2$  は低級アルキレンである、請求項3記載の化合物。

【請求項5】

$Y^1$  はメチレンまたはエチレンであり、そして  $Y^2$  はメチレンである、請求項4記載の化合物。

【請求項6】

$R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$ 、 $R^9$  および  $R^{10}$  は水素であり、そしてAはメチレンである、請求項5記載の化合物。

【請求項7】

Zは共有結合である、請求項6記載の化合物。

【請求項8】

$R^1$  は場合により置換されたフェニルであり、そして  $R^2$  は場合により置換されたシクロヘキシルである、請求項7記載の化合物。

【請求項9】

$R^1$  は、2,6-ジメチルフェニルであり、 $R^2$  はシクロヘキシルであり、そして  $Y^1$  はメチレンである、すなわち、N-(2,6-ジメチルフェニル)-2-[4-(3-シクロヘキシル-2-ヒドロキシプロピル)ピペラジニル]アセトアミドである、請求項8記載の化合物。

【請求項10】

$R^1$  および  $R^2$  は共に場合により置換されたフェニルである、請求項7記載の化合物。

【請求項11】

$R^1$  は2,6-ジメチルフェニルである、請求項10記載の化合物。

【請求項12】

$R^2$  は4-メトキシフェニルであり、 $Y^1$  はエチレンである、すなわち、N-(2,6-ジメチルフェニル)-2-{4-[3-ヒドロキシ-4-(4-メトキシフェニル)ブチル]ピペラジン-1-イル}アセトアミドである、請求項11記載の化合物。

【請求項13】

$R^2$  は2-メトキシフェニルであり、そして  $Y^1$  はエチレンである、すなわち、N-(2,6-ジメチルフェニル)-2-{4-[3-ヒドロキシ-4-(2-メトキシフェニル)ブチル]ピペラジニル}アセトアミドである、請求項11記載の化合物。

【請求項14】

Zは  $-C(O)NR^{20}$  - であり、そして  $R^{20}$  は水素である、請求項6記載の化合物。

【請求項15】

$R^1$  および  $R^2$  は共に場合により置換されたフェニルである、請求項14記載の化合物。

【請求項16】

$R^1$  は2,6-ジメチルフェニルであり、 $R^2$  は2-フルオロフェニルであり、そして、 $Y^1$  はメチレンである、すなわち4-(4-{[N-(2,6-ジメチルフェニル)カルバモイル]メチル}ピペラジニル)-3-ヒドロキシ-N-(2-フルオロフェニル)ブタンアミドである、請求項15記載の化合物。

【請求項17】

Zは  $-NR^{20}C(O)-$  であり、そして  $R^{20}$  は水素である、請求項6記載の化合物。

【請求項18】

$R^1$  および  $R^2$  は共に場合により置換されたフェニルである、請求項17記載の化合物。

【請求項19】

$R^1$  は2,6-ジメチルフェニルであり、 $R^2$  は2-フルオロフェニルであり、そして  $Y^1$  はメチレンである、すなわち、N-(2,6-ジメチルフェニル)-2-(4-{3-[(2-フルオロフェニル)カルボニルアミノ]-2-ヒドロキシプロピル}ピペラジニル)アセ

トアミドである、請求項 18 記載の化合物。

【請求項 20】

哺乳動物における糖尿病、外傷もしくはショックから生じる骨格筋肉の損傷、または循環器疾患から選ばれる疾患状態を処置するための医薬組成物であって、治療学的に有効な量の請求項 1 記載の化合物および医薬的に許容し得る賦形剤を含有する、該医薬組成物。

【請求項 21】

循環器疾患は、心房不整脈、間欠性は行、心室性不整脈、プリンツメタル（異型）アンギナ、安定型アンギナ、不安定型アンギナ、うっ血性心不全、または心筋梗塞である、請求項 20 記載の医薬組成物。

【請求項 22】

疾患状態は糖尿病である、請求項 20 記載の医薬組成物。